

所属： スポーツ科学部 競技スポーツ学科  
 資格： 准教授  
 氏名： 日吉 秀松

<p>研究課題名</p>	<p>文化大革命期における「一打三反」運動に関する分析</p>
<p>研究目的及び 研究概要</p>	<p>研究目的              1970年1月31日から2月5日にかけて、中国共産党中央は、「反革命破壊活動を打撃することに関する指示」、「鋪張浪費（贅沢と無駄）に反対することに関する通知」、「横領窃盗、投機倒把（投機取引）に反対することに関する指示」といった三つの文書を公表する。いわゆる「一打三反」運動である。この政治運動は文化大革命期において非常に重要な政治運動である。しかし、それに関する研究はあまり重視されていないのが現状である。本研究を通じてこの現状を閉させるのがこの研究の目的の一つである。また、「一打三反」運動のなかで、死刑の決定権を各省（中国の行政区画）に移管することで、多くの人が処刑された。「一打三反」運動に関して、その目的を究明し、この政治運動と文化大革命との関係を明らかにすることも本研究の目的である。</p> <p>研究概要              「一打三反」運動に関する資料を収集し、検証と分析を行っている。2019年9月にハーバード大学にて行った資料収集は有益なものを収めたが、不足部分に関しては引き続き資料の収集に努める。令和2年度中に、収集された資料に基づき論文を執筆し、学術雑誌に投稿する。</p>
<p>研究実績の概要</p>	<p>「一打三反」運動と関連する資料を収集しながら、社会に発信することが重要である。近年、特に昨年の夏、ハーバード大学の燕京図書館で1970年から1971年までの資料を収集し、今現在それらの資料の基に分析と検証を行なっている。令和2年度中に、「一打三反」の目的および周恩来の役割について研究論文を執筆中で、本学の法学部の学術雑誌に投稿する予定である。本研究の課題として、いうまでもなく資料収集の強化である。また、本研究と関係する中国政治などについても現地調査や資料収集なども行なわなければならない。</p> <p>研究実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Hidematsu Hiyoshi "A close look at changes in Japan-US relations The 2016 US presidential election as an example" American Presidential Elections in a Comparative Perspective The World Is Watching (New York:Lexing Books,2019) Edited by Jesus Velasco 77-112 (査読なし) (コピーを提出)</li> <li>2. 日吉秀松 「后文革时代权力交替的变革 (中国語)」 (ポスト文革における権力交替の変遷について) 呉称謀 編『中国变革之路』 (査読なし) 世界華語出版社 (アメリカ・ニューヨーク) 2019年8月出版 pp. 116~132。 (コピーを提出)</li> <li>3. 日吉秀松 「“五四”百年、文人該自省 (中国語)」 (百年を経過した「五四運動」に対して、中国の知識人がもっと反省すべきである) 呉称謀 編『文化啓蒙與制度重建』 (査読なし) 世界華語出版社 (アメリカ・ニューヨーク) 2019年8月出版 pp. 301~315。 (コピーを提出)</li> <li>4. 日吉秀松 「日本的農地改革和民主化 (中国語)」 宋永毅 編 『重審毛澤東的土地改革：中共建政初期的政治運動70周年の歴史回顧』上巻 (査読なし) 2019年12月出版、香港：田園書屋 pp. 73~98。 (コピーを提出)</li> </ol>